一般社団法人日本医学教育学会認定医学教育専門家 認定更新要件

2016年7月28日 制定

2025年3月7日 改正

以下のⅠ～Ⅲの書類を提出し、審査に合格することを更新要件とする

Ⅰ. 以下の必須要件 A～C を満たすこと

前回の認定から認定更新の申請までの間、

A 一般社団法人医学教育学会認定専門家資格制度要綱第8章第22条の条件を満たしていること

B 日本医学教育学会大会に参加していること（初回認定6年間、認定更新後5年間で1回以上）

・Bは参加証の写しにて確認

C 認定更新講習会を受講していること（初回認定6年間、認定更新後5年間で1回以上）

・Cは講習会の受講証（入室時に出席票（受講票）を配布し、退室時に引き換えに受付票（受講証）を渡す）の写しにて確認

Ⅱ. 以下の書類を提出し、専門家制度委員会（以下、当委員会）による審査に合格すること

D 過去5年間の医学教育における教育実績がわかる履歴書（以下のもの）

② 学術活動の成果

② 教育履歴

書式は認定用ポートフォリオに準ずる。前回の認定後の部分のみ記載

E 認定期間中の医学教育における教育実践の振り返りレポート 1通

医学教育に関連した教育実践であれば、領域は問わない。

Ⅲ. 前回の認定から認定更新の申請までの間に、以下の教育活動で計5点を獲得していること

① 医学教育学会委員会主催のワークショップや指定シンポジウムの聴講	1点/回	医学教育学会の委員会主催のあらかじめ当委員会により認定されたもので医学教育学会大会期間以外に開催されるもの 受講証（入室時に受講票を配布し、退室時に引き換えに受講証を渡す）の写しを提出する
② 日本医学教育学会大会発表	筆頭3点 共同演者1点	抄録の写しを提出する
③ 医学教育関連論文（査読あり）	筆頭著者5点 共著者2点	論文の写しを提出する
④ 講習会*の講師	3点/回 （上限3点）	*認定更新用講習会（上記のB）、臨床研修指導医WS、プログラム責任者講習会、JATECなど医学教育関連の講習会：感謝状、プログラム、招聘状の写しを提出する

⑤ 医学教育誌や学術大会演題の査読	1点/回 (上限3点)	<ul style="list-style-type: none"> ・学会誌査読申請者 EM (Editorial Manager) のスクリーンショットまたはメールの写しを提出する (日付は残し、論文タイトルは隠す) ・学術大会演題査読: 大会事務局からの依頼メールの写しを提出する
⑥ 専門家コースのメンター	1点/1名 (上限3点)	<p>医学教育専門家コース参加者のメンター歴*1を提出する</p> <p>*1 メンター歴: マッチング成立の事務局からの依頼メール (メンティの氏名が記載されたもの) の写しを提出する</p>
⑦ 専門家コースワーク講師、コースワークレポート評価、ポートフォリオ評価	1点/回 (上限3点)	<p>コースワーク講師: シラバスの写しを提出</p> <p>レポート評価: 事務局からの依頼メールの写しまたは評価用 Moodle の画面のスクリーンショットのいずれかを提出</p> <p>ポートフォリオ評価: 事務局からの依頼メールの写しを提出</p> <p>面接: 事務局からの依頼メールの写しを提出</p>

★申請書類は当委員会にて審査される。認定の更新は、当委員会の報告に基づき、理事会が行う。
(一般社団法人医学教育学会認定専門家資格制度要綱第 8 章第 23 条)

<補足説明>

- ・“専門家認定後も教育実践を続けていること”、“教育、教育研究に関する倫理、医学教育 Update などを受講すること”が必要と考え、Ⅰ、Ⅱの必須要件とした。
- ・医学教育学会大会への参加が困難な場合を考慮し、学会参加は 5 年（初回認定後は 6 年）間で 1 回のみでよいこととした。
- ・様々な立場にある“医学教育専門家”がいることを想定し、Ⅲの①~④のいずれかの組み合わせで認定更新可能となることとした。
- ・認定更新の保留については、「一般社団法人医学教育学会認定専門家資格制度施行細則」にて別途定める。

認定更新申請に必要な書類

I. II.前回の認定から更新の申請までの間の

- B 日本医学教育学会大会参加証の写し 1件
- C 認定更新のための講習会 受講証の写し 1件
- D 医学教育における教育実績がわかる履歴書 所定の書式
- E 医学教育における教育実践の振り返りレポート 1通
医学教育に関連した教育実践であれば、領域は問わない。

III. 以下の教育活動実績 計5点

① 医学教育学会委員会主催のワークショップや指定シンポジウムの聴講	1点/回	医学教育学会の委員会主催のあらかじめ認定されたもので医学教育学会大会期間以外に開催されるもの 受講証(入室時に受講票を配布し、退室時に引き換えに受講証を渡す)の写しを提出する
② 日本医学教育学会大会発表	筆頭3点 共同演者1点	抄録の写しを提出する
③ 医学教育関連論文(査読あり)	筆頭著者5点 共著者2点	論文の写しを提出する
④ 講習会*の講師	3点/回 (上限3点)	*認定更新用講習会(上記のB)、臨床研修指導医WS、プログラム責任者講習会、JATECなど医学教育関連の講習会:感謝状、プログラム、招聘状の写しを提出する
⑤ 医学教育誌や学術大会演題の査読	1点/回 (上限3点)	・学会誌査読申請者がEMまたはメールのスクリーンショットを提出(日付は残し、論文タイトルは隠す)する ・学術大会演題査読:大会事務局からの依頼メールの写しを提出する
⑥ 専門家コースのメンター	1点/1名 (上限3点)	医学教育専門家コース参加者のメンター歴*1を提出する *1メンター歴:マッチング成立の事務局からの依頼メール(メンティの氏名が記載されたもの)の写しを提出する
⑦ 専門家コースワーク講師、コースワークレポート評価、ポートフォリオ評価	1点/回 (上限3点)	コースワーク講師:シラバスの写しを提出 レポート評価:事務局からの依頼メールの写しまたは評価用Moodleの画面のスクリーンショットのいずれかを提出 ポートフォリオ評価:事務局からの依頼メールの写しを提出 面接:事務局からの依頼メールの写しを提出